

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場

(1) 学内農場農事部

- ・合鴨農法を用いた健康食品「黒米」の栽培
- ・セルトレー育苗を活用した根菜類の機械移植法の確立
- ・観賞用切り花栽培における品質管理

(2) 学内農場畜産部

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変ミニブタ作成に関する研究
- ・家畜、家禽における遺伝育種学的研究
- ・家畜の行動管理ならびに未利用資源の飼料化に関する研究

(3) 唐湊果樹園

- ・果樹類遺伝資源の保存とそれらの栽培技術法の開発

(4) 指宿植物試験場

- ・熱帯・亜熱帯性植物類の導入と利用
- ・ヤムイモ類の生理・生態学的研究
- ・温泉熱の農業への利用

(5) 入来牧場

- ・黒毛和種の低コスト生産技術
- ・放牧養豚による荒廃草地の更新
- ・暖地型牧草のサイレージ発酵

2) 農学部研究室

(1) 圃場関係

(作物学研究室)

- ・カンショの生産性の研究
- ・学生実験用水稲の栽培

(熱帯作物学研究室)

- ・水稻および麦への不耕起マルチ栽培法に関する研究
- ・新液体肥料「エコラミング」の効果に関する研究
- ・水利用効率の律速要因に関する研究
- ・乾物生産量と蒸発散量の計測に基づく共生窒素固定量評価に関する研究

(植物育種学研究室)

- ・アワの形態調査と品種保存
- ・サツマイモの生育・形態調査および耐病害虫性等に関する遺伝分析
- ・アワの突然変異に関する遺伝分析
- ・水稻の耐病性に関する遺伝分析

(植物分子生物学研究室)

- ・ヒルガオ科およびアブラナ科植物の花成に関する研究

(果樹園芸学研究室)

- ・極早生ウンシュウとポンカンの根域制限試験およびポンカンとタンカンのゼロエミッション試験
- ・ポンカン、キンカン、実験材料の栽培

研究活動

- ・ブルーベリーの栽培
- ・研究供試用のコンテナおよびポット植えのボンカン，タンカン等100樹を置くため
- ・マスカディンブドウ（繁殖試験用）の試作
- ・青島温州幼木の育成
- ・スイートプリング幼木の育成
- ・しらぬいの台木試験
- ・果樹栽培における炭化物利用に関する試験
- ・果実品質向上剤の検索試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育および成熟の比較試験
- ・パッションフルーツの樹体発育，花芽分化および結実に関する研究
- ・パパイヤの栽培

(蔬菜園芸学研究室)

- ・ニンニクおよびネギ類の系統維持と遺伝育種実験
- ・トレビスの生態解明と栽培実験
- ・桜島ダイコンの育種および栽培実験
- ・桜島ダイコンの採種法の研究

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝
- ・トルコギキョウ，デルフィニウムの新花色の育種
- ・ツツジ類の生態型と花色の育種
- ・スイートピーの栽培試験

(植物病理学研究室)

- ・チャ，ツツジ，サザンカ等病害の発病機構

(害虫学研究室)

- ・チャノホソガの人工飼料の開発
- ・変温と高温条件がチャノコカクモンハマキ生育に及ぼす影響
- ・アリモゾキゾウムシの人工飼料の開発
- ・昆虫ウイルスによるイラクサギンウハバおよびアワヨトウの防除

(応用糖質化学研究室)

- ・系統別サツマイモデンプンの物理化学的特性に関する研究

(農業機械学研究室)

- ・さとうきび栽培機械の開発

(家畜管理学研究室)

- ・未利用資源を利用した山羊の肥育に関する研究
- ・合鴨の水田放飼が黒米の生育および収量に及ぼす影響
- ・水田放飼合鴨への未利用資源の給与が産肉性に及ぼす影響
- ・水田を利用した山羊の輪換放牧に関する研究
- ・調理・食残渣および作物残渣給与による黒豚の放牧肥育に関する研究

(環境情報システム学研究室)

- ・非破壊計測によるサツマイモの生育調査法の開発

(農地工学)

- ・畑地の浸透能実験

(2) 動物飼育棟関係

(家畜育種学研究室)

- ・家畜，家禽を用いた遺伝育種学的研究
- ・鹿児島県在来家畜の遺伝資源学的研究

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変ミニブタ作成に関する研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究

- ・地域未利用資源の飼料化に関する研究
(動物細胞工学研究室)
- ・食品の生活習慣病予防機能などの解析をマウス、ラットを用いて行う
(栄養生化学・飼料化学研究室)
- ・甘藷焼酎粕の機能性と飼料化に関する研究
- ・ストレス性高脂血症モデル動物における各種タンパク質源の脂質代謝改善作用
- ・ニワトリのヒートショックに関する生理生化学的研究
- ・骨格筋萎縮特異的遺伝子の発現機構に関する研究

2 研究成果

1) 農場 (2006)

(1) 学会誌

- Yamamoto, M., (T. Kubo and S. Tominaga) : Self- and cross-incompatibility of various citrus accessions, J.Japan.Soc. Hort.Sci., 75: 372-378 (2006)
- 黒田治之・(千葉和彦) : わい性および半わい性台木を利用したリンゴ‘スターキング・デリシャス’樹における根成長に及ぼす栽植密度の影響. 園学雑. 75: 91-99 (2006)
- (伊藤大雄・杉浦俊彦)・黒田治之 : ニホンナシ園における蒸発散速度の実態解明と日蒸発散量の推定. 農業気象, 62: 23-32 (2006)
- 黒田治之・(千葉和彦) : わい性および半わい性台木利用リンゴ‘スターキング・デリシャス’樹における純生産量とその分配に及ぼす栽植密度の影響. 園学研. 5: 421-430 (2006)

(2) 学報, 農場報告等

- (下桐猛・奥村史彦)・龍野巳代・花田博之・伊村嘉美・(河邊弘太郎・岡本新・前田芳實) : AFLP を用いた口之島野生化牛の遺伝的変異性. 鹿大農場研報, 29: 13-15 (2006)
- 山本雅史・遠城道雄・野村哲也・(米本仁己・石畑清武・久保達也・富永茂人) : シロサポテ (*Casimiroa edulis* La Llave & Lex.) における花粉量および花粉稔性の季節的変動 (予報), 鹿大農学術報, 56: 9-13 (2006)
- 山本雅史・(中川剛志)・遠城道雄・(米本仁己・石畑清武・久保達也・富永茂人) : シロサポテ (*Casimiroa edulis* La Llave & Lex.) のアイソザイム分析, 鹿大農学術報, 56: 15-18 (2006)
- 山本雅史・(松島健一・伊地智 告・上地義隆)・川口昭二・中野八伯・野村哲也・谷村音樹・(久保達也・富永茂人) : 奄美諸島における在来カンキツ遺伝資源の調査とその保存, 鹿大農場研報, 29: 5-11 (2006)
- (下桐 猛・奥村史彦)・龍野巳代・花田博之・伊村嘉美・(河邊弘太郎・岡本 新・前田芳實) : AFLP を用いた口之島野生化牛の遺伝的特異性. 鹿大農場研報, 29: 13-15 (2006)
- (田ノ上智美・奥村史彦・下桐 猛)・片平清美・広瀬 潤・伊村嘉美・(岡本 新・前田芳實) : トカラ馬の馴致に関する一考察. 鹿大農場研報, 29: 17-20 (2006)
- 高山耕二・(田口 光・萬田正治・中西良孝) : 家鴨卵への異なる音刺激が孵化に及ぼす影響. 鹿大農学術報, 56: 45-49 (2006)

(3) 口頭発表

- (富永茂人)・山本雅史・(伊東智人・三輪雅子) : 乾式メタン発酵残渣由来の炭化物の施用がカンキツの果実品質に及ぼす影響. 全国都市清掃研究・事例発表会 (2006)
- 山本雅史・(臼井拓磨・AA アブケナール・松本亮司・久保達也・富永茂人) : 奄美諸島在来カンキツの DNA 分析. 園芸学会平成18年度春季大会 (2006)
- (楊学虎・平井孝宣・富永茂人・久保達也)・山本雅史 : タンカンの開花と生理落果 (花) について. 園芸学会18年度春季大会 (2006)
- (久保達也・石本知香・本郷美音)・中野八伯・川口昭二・(富永茂人)・山本雅史 : パッションフルーツ果実 (夏実と冬実) の発育と成熟に伴う有機酸組成の変化. 園芸学会18年度春季大会 (2005)
- (久保達也・本郷美音・石本知香・富永茂人)・山本雅史 : 収穫後のパッションフルーツ果実の減酸に及ぼすエチレンの影響. 園芸学会18年度春季大会 (2006)
- (石本知香・久保達也・富永茂人)・山本雅史 : エスレル処理がパッションフルーツ果実の糖および有機酸組成に及ぼす影響. 園芸学会18年度春季大会 (2006)
- 山本雅史・(富田貴浩)・遠城道雄・(米本仁己・石畑清武・久保達也・富永茂人) : シロサポテ (*Casimiroa edulis*) の DNA 分析. 園芸学会18年度春季大会 (2006)

- 伊村嘉美・(飯田元)・廣瀬潤・西谷篤・高山耕二・(中西良孝)：放牧養豚における群再編成時の闘争行動 - 舎飼豚との比較 - . 日本草地学会大会 (2006)
- (北地秀基)・池田博文・伊村嘉美・(下田代智英)・遠城道雄・高山耕二・(中西良孝)：土壤微生物資材を添加した牛糞堆肥による作物への施用効果. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同春期研究発表会 (2006)
- (内山雄紀・赤井克己)・花田博之・伊村嘉美・高山耕二・(中西良孝)：牧場採草地における野生シカの侵入防止に関する研究 (予報). 日本家畜管理学会・応用動物行動学会合同春期研究発表会 (2006)
- (東めぐみ・西田理恵)・伊村嘉美・高山耕二・(中西良孝・小田原英孝)：解繊処理竹材のサイレージ化とその飼料価値. 西日本畜産学会 (2006)
- (内山雄紀)・花田博之・伊村嘉美・高山耕二・(中西良孝・赤井克己)：牧場採草地における電気柵の設置が野生シカの侵入に及ぼす影響. 西日本畜産学会 (2006)
- 高山耕二・(梅木美穂)・伊村嘉美・(大浦昭寛・松本信助・中西良孝)：トウフ粕サイレージの給与がつしま地鶏の飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響. 日本畜産学会第106回大会. 35 (2006)
- 高山耕二・(中田好郁)・松元里志・福留弘康・田浦一成・(下田代智英・徳重 悟・中西良孝)：調理・食残渣発酵飼料の給与が水田放飼合鴨の成長ならびに産肉性に及ぼす影響. 第7回日本有機農業学会大会. 24-26 (2006)

2) 農場を利用した研究成果 (2005~2006)

(1) 論文

- Fukunaga, K., k. Ichitani, S. Taura, M. Sato and M. Kawase : Ribosomal DNA intergenic spacer sequence in foxtail millet, *Setaria italica* (L.) P. Beauv. and its characterization and application to typing of foxtail millet landraces. *Hereditas* 142: 38-44 (2005)
- 富永茂人・橋田泰昌・玉利祐一・川口昭二・谷村音樹：予措温度とポリエチレン包装がボンカン果実の着色と品質に及ぼす影響. 鹿大農場研報. 28: 1-14 (2005)
- 遅 玉成・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：マメノメイガの産卵と寿命におよぼす温度の影響. 日本応用動物昆虫学会誌, 49:29-32 (2005)
- 津田勝男・甲斐絢子・坂巻祥孝・神崎保成・櫛下町鉦敏：南九州のチャ園から採取したウスコカクモンハマキ *Adoxophyes dubia* およびチャノコカクモンハマキ *Adoxophyes honmai* の顆粒病ウイルス感受性. 日本応用動物昆虫学会誌, 49: 129-133 (2005)
- Sato K, Yoshida M, Miyoshi K : Utility of ultrasound stimulation for activation of pig oocytes matured in vitro. *Molecular Reproduction and Development*. 72: 396-403 (2005)
- Miyoshi K, Yuki Y, Yoshida M : Optimization of calcium concentrations in fusion and activation media for production of cloned embryos from miniature pig somatic cells. *Journal of Reproduction and Development*. 51: 699-706 (2005)
- Okumura F., Shimogiri T., Shinbo Y., Yoshizawa K., Kawabe K., Mannen H., Okamoto S., Cheng H.H., Maeda Y. : Linkage mapping of four calpain genes. *Animal Science Journal*, 76: 121-128 (2005)
- Nishibori M., Shimogiri T., Hayashi T., Yasue H. : Molecular evidence for hybridization of species in the genus *Gallus* except for *Gallus varius*. *Animal Genetics*, 36: 367-375 (2005)
- Kitahara, K., Fukunaga, S., Katayama, K., Takahata, Y., Nakazawa, Y., Yoshinaga, M., Suganuma, T., : Physicochemical properties of sweetpotato starches with different gelatinization temperatures., *Starch*, 57, 473-479 (2005)
- Kitahara, K., : Study on organ-specific starch properties of sweetpotato., *Journal of Applied Glycoscience*, 52, 45-50 (2005)
- Amrozi, Kamimura S, Ando T, Hamana K : Apoptotic cells in dominant follicles in Japanese Black cows. *Mem Fac Agr Kagoshima Univ*, 40, 35-43 (2005)
- Ando T, Weber F, Stolla R, Leidl W, Kamimura S, Hamana K : Uterine and ovarian blood flows measured with transrectal doppler sonography during the estrous cycle in cows. *Mem Fac Agr Kagoshima Univ*, 40, 45-54 (2005)
- 朝 魯孟・高山耕二・中西良孝・上村俊一・浜名克己：超音波検査法によるヤギの早期妊娠診断. 鹿大農学術報. 55: 31-36 (2005)
- Ando T, Kamimura S, Hamana K, Watanabe G, Taya K : GnRH treatment at CIDR insertion influences ovarian follicular dynamics in Japanese Black cows. *J Vet Med Sci*, 67, 3, 275-280 (2005)
- 山崎 徹・上村俊一・安藤貴朗・浜名克己・松崎和俊：黒毛和種牛におけるオブシンク開始前のプレシンク処置の効果に関する検討日獣会誌, 58, 8, 541-545 (2005)
- Fukunaga, K., k. Ichitani, M. Kawase : Phylogenetic analysis of the r DNA intergenic spacer subrepeats and its implication for the domestication history of foxtail millet, *Setaria italica*. *Theoretical and Applied Genetics*, 113(2), 261-269 (2006)

- 遅 玉成・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：マメノメイガ (*Maruca vitrata*) の發育に関する温度反応 (鱗翅目, ツトガ科). 鹿大農学術報, 56:19-23 (2006)
- 津田勝男・東中祐枝・坂巻祥孝・井上栄明・上和田秀美・櫛下町鉦敏：人工飼料によるナカジロシタバの飼育. 鹿児島大学農学部学術報告, 56: 39-44 (2006)
- Miyoshi K, Sato K, Yoshida M. : In vitro development of cloned embryos derived from miniature pig somatic cells after activation by ultrasound stimulation. *Cloning and Stem Cells*. 8: 159-165 (2006)
- 三好和睦：超音波を用いたブタ卵子活性化法の開発および体細胞クローンミニブタ作出への応用. *BIO九州*. 180: 1-5 (2006)
- Okumura F., Shimogiri T., Kawabe K., Okamoto S., Nishibori M., Yamamoto Y., Maeda Y. : Gene constitution of native chickens in Southeast Asia, commercial chicken and jungle fowl using four calpain genes polymorphism. *Animal Science Journal*, 77: 188-195 (2006)
- Shimogiri T., Kiuchi S., Hiraiwa H., Hayashi T., Takano Y., Maeda Y., Yasue H. : Assignment of 117 genes from HSA5 to the porcine IMPRH map and generation of a dense human-pig comparative map. *Animal Genetics*, 37: 503-508 (2006)
- 北原兼文：サツマイモデンブンの新世界, *でん粉と食品*, 31, 7-11 (2006)

(2) 口頭発表

- 井藤麻未・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏・津田勝男：餌によるハスモンヨトウの發育と繁殖特性の差違. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 松田洋介・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏・津田勝男：鹿児島県におけるウラナミシジミによるソラマメの加害実態. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 岡本侑子・津田勝男・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏：イラクサキンウワバから分離した核多角体病ウイルスの病原性. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 柿元佳奈・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：夏の高湿および食餌がチャハマキの發育に与える影響. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 杉谷詩麻・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：チャノホソガの累代飼育法の確立.九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 田野飛・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：異なる寄主植物上におけるマメハモグリバエとトマトハモグリバエの特性と種間関係. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 原 可奈子・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：異なる環境下におけるハモグリバエ群集の経時変化. 九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 馬場央枝・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏・津田勝男：シナクダアザミウマの生息環境調査及び各種被食昆虫に対する捕食量調査.九州病害虫研究会第70回研究発表会 (2005)
- 日巻武裕・糸井史陽・三好和睦・吉田光敏：ウシ卵子の成熟・受精・発生過程におけるプリオンタンパク質遺伝子発現. 第104回日本畜産学会 (2005)
- 佐藤啓介・三好和睦・吉田光敏：超音波により活性化したミニブタ体細胞クローン胚の体外発生. 第104回日本畜産学会 (2005)
- 井上須美子・三好和睦・吉田光敏：超音波によるミニブタ体細胞クローン胚の活性化：duty 比が体外発生に及ぼす影響. 第105回日本畜産学会 (2005)
- 田中咲子・池海英・三好和睦・吉田光敏：ブタ卵の成熟・受精・発生過程における 1,3 ガラクトシルトランスフェラーゼ遺伝子発現に関する研究. 第98回日本繁殖生物学会 (2005)
- 峰尚美・三好和睦・吉田光敏：電気あるいは超音波刺激により活性化したブタ顕微授精胚の体外発生. 第56回西日本畜産学会 (2005)
- 野村真一・三好和睦・吉田光敏：ブタ生殖細胞系列における内在性レトロウイルス外被タンパク質遺伝子の存在と発現に関する研究. 第56回西日本畜産学会 (2005)
- 池海英・田中咲子・三好和睦・吉田光敏：二本鎖 RNA の顕微注入によるブタ単為発生由来胚盤胞における 1,3 - galactosyltransferase 遺伝子の発現抑制. 第56回西日本畜産学会 (2005)
- 篠原真理子：池海英：三好和睦：吉田光敏：単為発生由来ブタ胚盤胞における 1,3 ガラクトシルトランスフェラーゼ遺伝子発現動態. 第56回西日本畜産学会 (2005)
- 津田勇真・下桐 猛・岡本 新・河邊弘太郎・田中和明・吉元敏己・横山豪朗・前田芳貴：奄美島豚の mtDNA D-loop の塩基配列解読と多品種集団との比較, 西日本畜産学会第56回大会 (2005)
- 志村洋子・三吉由佳里・下桐 猛・河邊弘太郎・岡本 新・鳥取潤一・中西喜彦・前田芳貴：AFLP 法によるク

- ラウン系ミニブタの遺伝子解析, 西日本畜産学会第56回大会 (2005)
- 田ノ上智美・木下圭司・下桐 猛・河邊弘太郎・岡本 新・西堀正英・山本義雄・前田芳實: プータン在来鶏の卵白タンパク質の多型解析, 西日本畜産学会第56回大会 (2005)
- Hla Hla Moe・下桐 猛・岡本 新・河邊弘太郎・前田芳實: 体重大小選抜ウズラの IGF-レセプター遺伝子における 1 塩基置換について, 日本動物遺伝育種学会第 6 回大会 (2005)
- 一木友博・瀬山智博・下桐 猛・岡本 新・河邊弘太郎・西堀正英・山本義雄・西田隆雄・橋口 勉・渡辺智正・前田芳實: アジア在来鶏およびその他集団における Mx 遺伝子の多型解析, 日本畜産学会第104回大会 (2005)
- 木下圭司・下桐 猛・Ibrahim Hisham・河邊弘太郎・岡本 新・前田芳實: ニワトリ卵白オボトランスフェリンの表現型に関わる 1 塩基多型, 日本畜産学会第104回大会 (2005)
- 下桐 猛・木内幸子・平岩秀樹・林 武司・高野由宇・前田芳實・安江 博: ヒト第 5 染色体 (HSA5) に対応するブタ染色体の高密度 RH 地図の作成, 日本畜産学会第104回大会 (2005)
- 中田好郁・松元里志・野村哲也・下田代智英・高山耕二・中西良孝・徳重 悟: 水田放飼合鴨への調理・食残渣発酵飼料の給与が卵肉生産に及ぼす影響. 西日本畜産学会2005年度 (第56回) 大会. 105 (2005)
- 北原兼文・吉永 優・片山健二・高畑康浩・藤田清貴・菅沼俊彦: 新たに育成された低糊化温度サツマイモデンプンの物理化学的特性. 日本応用糖質科学会, 31 (2005)
- 赤坂泰輝・北原兼文・藤田清貴・菅沼俊彦: サツマイモ ADP-グルコースピロホスホリラーゼのサブユニット遺伝子の解析, 日本応用糖質科学会, 35 (2005)
- 浜名克己・上村俊一: 子牛の重複奇形47例の疫学と分類. 日本産業動物獣医学会年次学会, 126 (2005)
- 牛之浜泰崇・Amrozi・安藤貴朗・上村俊一・浜名克己: 子宮内挿入器具 (IUD) が黒毛和種肥育雌牛の繁殖機能と増体量に及ぼす影響. 139日本獣医学会, 190 (2005)
- 朝 魯孟・安藤貴朗・高山耕二・中西良孝・上村俊一・浜名克己: 超音波検査法によるヤギの早期妊娠診断と胎子発育モニター. 140日本獣医学会, 151 (2005)
- 野田恭代・浜名克己・君付忠和・谷 峰人・東 光昭・上村俊一: 分娩後早期の卵巢賦活が牛の繁殖機能に与える影響. 平成17年度日本産業動物獣医学会 (九州), 53 (2005)
- 福山悠介・片平清美・伊村嘉美・浜名克己・上村俊一: 人工授精後27日の早期診断で非妊娠とされた牛に対する再発情同期化処置. 平成17年度日本産業動物獣医学会 (九州), 53 (2005)
- 中村雄気・上村俊一・浜名克己: 南九州で観察された牛の二重体50例の解析. 平成17年度日本産業動物獣医学会 (九州), 58 (2005)
- 遠藤奈央・上村俊一・浜名克己: 2 年間に観察された先天異常子牛133例の疫学的解析. 平成17年度日本産業動物獣医学会 (九州), 121 (2005)
- 塩賀由紀・上村俊一・浜名克己: 牛21例とヤギ例にみられたアーノルド・キアリ奇形の解析. 平成17年度日本産業動物獣医学会 (九州), 122 (2005)
- 一谷勝之: イネ雑種弱勢の遺伝解析. 第 1 回九州育種談話会 (2006)
- 齋藤利弥・揚村京子・波越啓太・市田裕之・林 依子・阿部知子・西村 実・一谷勝之・久保山勉: イネ雑種弱勢原因遺伝子 Hwc2 の高密度連鎖解析と弱勢抑制変異体の染色体欠失領域について. 日本育種学会第110回講演会 育種学研究第 8 巻別冊 2 号: 92 (2006)
- 波越啓太・田浦 悟・佐藤宗治・揚村京子・久保山勉・一谷勝之: イネ雑種弱勢原因遺伝子 Hwc1 の高密度連鎖解析および候補遺伝子. 日本育種学会第110回講演会 育種学研究第 8 巻別冊 2 号: 93 (2006)
- 田浦 悟・杉田佑紀・川原大輔・河邊弘太郎・P. H. Ton・B. T. Thuy・瀬古秀文・一谷勝之・佐藤宗治: 北部ベトナム産イネ品種におけるイネ白葉枯病抵抗性遺伝子の分布 II. 葉緑体 DNA およびアイソザイムによる生態型の分類. 日本育種学会第110回講演会 育種学研究第 8 巻別冊 2 号: 225 (2006)
- 福永健二・一谷勝之・河瀬真琴: rDNA サブリピートの塩基配列多型解析からみたアワの系統分化. 日本育種学会第110回講演会 育種学研究第 8 巻別冊 2 号: 242 (2006)
- 一谷勝之・友岡純一・竹田修一・田浦 悟・佐藤宗治: BC₅F₁ 世代を用いて分析した矮性遺伝子座 d35, d50 とイネの稈長に関する QTL との間の交互作用. 日本育種学会第109回講演会 育種学研究第 8 巻別冊 1 号: 152 (2006)
- 上井裕一・坂巻祥孝・津田勝男・榎下町鉦敏: ウラナミシジミのインゲン上における産卵消長とインゲン数品種間における産卵選好性. 九州病害虫研究会第71回研究発表会 (2006)
- 島内円夏・上和田秀美・福田 健・坂巻祥孝・津田勝男・榎下町鉦敏: 未交尾雌を誘引源とし, ムシダスを利用したハスモンヨトウの生殖行動の解明. 九州病害虫研究会第71回研究発表会 (2006)
- 田 野飛・坂巻祥孝・津田勝男・榎下町鉦敏: マメハモグリバエとトマトハモグリバエの寄主選好性.九州病害

虫研究会第71回研究発表会 (2006)

- 二宮光輝・津田勝男・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏：人工飼料を利用したチャノホソガの大量飼育体系の確立. 九州病害虫研究会第71回研究発表会 (2006)
- 守田詩穂・坂巻祥孝・津田勝男・櫛下町鉦敏：チャノコカクモンハマキの発育に及ぼす変温と食餌の影響. 九州病害虫研究会第71回研究発表会 (2006)
- 三好和睦：超音波を用いた卵子活性化法の開発および体細胞クローンミニブタ作出への応用. 第2回ソノボレーション研究会 (2006)
- 峰 尚美・三好和睦・福留憲浩・小森照史・吉田光敏：顕微授精による黒豚（パークシャー種）の生産. 第85回日本養豚学会 (2006)
- 井上須美子・三好和睦・吉田光敏：超音波による活性化法を用いた体細胞クローンミニブタの作出. 第106回日本畜産学会 (2006)
- 日巻武裕・三好和睦・吉田光敏：二本鎖 RNA の顕微注入によるウシ体外成熟・体外受精卵におけるプリオンタンパク質遺伝子の発現抑制. 第106回日本畜産学会 (2006)
- 三好和睦：超音波を用いた卵子活性化法の開発および体細胞クローンミニブタ作出への応用. 若手企画シンポジウム. 第106回日本畜産学会 (2006)
- 三好和睦：超音波を用いた卵子活性化法の開発および発生工学的技術による哺乳動物生産への応用. 産学共同シリーズイノベーション化事業研究報告会 (2006)
- 岡本 新・後藤千寿・西堀正英・下桐 猛・河邊弘太郎・BUN Tean・CHEA Bunthon・CHHUM PHITH Loan・前田芳實・橋口 勉・並河鷹夫：カンボジア在来鶏の血液蛋白質多型について. 日本畜産学会第106回大会 (2006)
- 河邊弘太郎・山部桂子・西堀正英・BUN Tean・CHEA Bunthon・CHHUM PHITH Loan・下桐 猛・岡本 新・田浦 悟・前田芳實・橋口 勉・並河鷹夫：カンボジア在来鶏のミトコンドリア DNA 多型解析. 日本畜産学会第106回大会 (2006)
- 前田芳實・田ノ上智美・Tashi Dorji・Gyen Tshering・山本義雄：ブータン在来鶏の卵白蛋白質多型について. 日本畜産学会第106回大会 (2006)
- SHIMOGIRI, T.・KUCHI, S.・HIRAIWA, H.・HAYASHI, T.・TAKANO, Y.・MAEDA, Y.・and YASUE, H. : Assignment of 117 genes localized on HSA5 to a porcine RH (IMpRH) map to generate a dense new human-pig comparative map. 30th International Conference on Animal Genetics (2006)
- 後藤千寿・岡本 新・下桐 猛・河邊弘太郎・前田芳實・西堀正英・万年英之・角田健司・並河鷹夫・木下圭司・Tashi Darji・Gyem Tshering・山本義雄：ブータン在来鶏における血液タンパク質多型の解析. 日本動物遺伝育種学会第7回大会 (2006)
- 外山奈津紀・下桐 猛・河邊弘太郎・前田芳實・岡本 新：コマーシャル鶏におけるインフルエンザ抵抗性遺伝子に関する研究. 日本動物遺伝育種学会第7回大会 (2006)
- MSALYA, G. SHIMOGIRI, T. OKAMOTO, S. KAWABE, K. NAMIKAWA, T. and MAEDA, Y. : Prion protein gene (PRNP) polymorphisms in Asian native cattle, Japanese cattle and Mithan. 日本動物遺伝育種学会第7回大会 (2006)
- Hla Hla Moe SHIMOGIRI, T. OKUMURA, F. KAWABE, K. OKAMOTO, S. YAMAMOTO, Y. and MAEDA, Y. : Polymorphism at insulin-like growth factor 1 gene in Asian native chickens. 日本動物遺伝育種学会第7回大会 (2006).
- 北原兼文・岩崎絵里香・吉永 優・片山健二・高畑康浩・藤田清貴・菅沼俊彦：低温糊化性サツマイモデンプンのレジスタントスターチについて, 日本応用糖質科学会, 44 (2006)
- 田浦 悟・瀬崎義孝・川原大輔・杉田佑紀・川野生穂・河邊弘太郎：イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の抵抗性遺伝子のマッピング. 育種学研究 8 64 (別1) (2006)
- 一谷勝之・友岡純一・竹田修一・田浦 悟・佐藤宗治：BCF 世代を用いて分析した戻し交雑世代を用いて解析した矮性遺伝子座 d35, d50 とイネの稈長に関する QTL との交互作用. 育種学研究 8 152 (別1) (2006)
- 波越啓太・田浦悟・佐藤宗治・揚村京子・久保山勉・一谷勝之：イネ雑種弱勢原因遺伝子 Hwc1 の高密度連鎖解析および候補遺伝子. 育種学研究 8 93 (別2) (2006)
- 田浦 悟・杉田佑紀・河原大輔・河邊弘太郎・P. H. Ton・B. T. Thuy・瀬古秀文・一谷勝之・佐藤宗治：北部ベトナム産イネ品種におけるイネ白葉枯病抵抗性遺伝子の分布. 葉緑体 DNA およびアイソザイムによる生態型の分類. 育種学研究 8 225 (別2) (2006)

(3) 報告書

- 一谷勝之：鹿児島大学で維持されているアワ系統の DNA マーカーによる分類. 遺伝資源が結ぶ南九州とアジア. 79-80 (2006)

- 富永茂人：奄美地域における果樹の経済栽培。遺伝資源が結ぶ南九州とアジア。鹿児島大学遺伝資源研究プロジェクト報告書。P.97-99 (2006)
- 富永茂人：島嶼の遺伝資源調査 1. 島嶼地域の調査 (2005年度)。鹿児島大学遺伝資源研究プロジェクト報告書。P.100-109 (2006)
- 富永茂人：奄美群島の農業の現状と将来。南太平洋海域調査研究報告。46, 107-124 (2006)
- 中西良孝(分担)：竹林を利用した鹿児島県山村地域の活性化に関する調査研究 畜産分野における竹の利用 - 飼料化および敷料化の現状と課題 - (国土緑化推進機構平成17年度「緑と水の森林基金」助成事業報告書, かごしまウッディテック・フォーラム), 26-29 (2006)
- 田浦 悟：イネの病原菌を集める ~ 北部ベトナムにおけるイネ白葉枯病枯病抵抗性品種育成計画 ~ シンポジウム報告書 “遺伝資源が結ぶ南九州とアジア” 鹿児島大学遺伝資源プロジェクト 69-70 (2006)
- 田浦 悟：アジアのイネ白葉枯病枯病抵抗性遺伝子の分布 ~ 北部ベトナムについて ~ シンポジウム報告書 “遺伝資源が結ぶ南九州とアジア” 鹿児島大学遺伝資源プロジェクト 71-72 (2006)

(4) 商業誌

- 富永茂人：気候温暖化と果樹の対応技術, Vol.3 カンキツ類の生理落果におよぼす影響と対策。果実日本 60(4), 60-63 (2005)
- 西馬場仁, 浜名克己：3.5年間に収集された先天異常子牛375例の疫学的解析。J V M, 58, 1, 21-22 (2005)
- 富永茂人：気候温暖化が柑橘の生育におよぼす影響。フルーツひろしま 22(2), 10-13 (2006)

(5) 博士論文

(2005)

Amrozi, Kamimura S. : Studies of ovarian dynamics, apoptotic cells and distribution of estrogen receptor alpha in ovaries in Japanese Black cows.

安藤貴朗：プロゲステロン徐放剤挿入時に投与した GnRH やエストラジオールが牛の卵巣および内分泌動態に及ぼす影響

(2006)

奥村史彦：ニワトリカルパイン遺伝子のマッピングとその系統分化への応用

(6) 修士論文

(2005)

田 野飛：異なる寄主植物上におけるマメハモグリバエとトマトハモグリバエの特性と種間関係

松田洋介：ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (linnaeus) の生態の解明

佐藤啓介：超音波を用いた卵子活性化法の開発およびミニブタ体細胞クローニングへの応用

遊木靖人：体細胞クローンミニブタ作出技術の高度化

志村洋子：AFLP 法による DNA マーカーの作出とその集団解析への応用

田ノ上智美：ニワトリ及びウズラの卵白タンパク質多型に関する遺伝資源学的研究

津田勇真：奄美島豚の遺伝資源学的調査研究

Hla Hla Moe : Genetic Studies on IGF-IR of Selected Quails for Body Size

里中エリサ：肉用種子牛に対するブラッシング処理が人への馴致、発育ならびに社会的順位に及ぼす影響

川原大輔：イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 Xa3 のクローニング ~ DNA マーカーを利用したマッピング ~

杉田佑紀：北部ベトナムイネ品種の遺伝資源の評価

(2006)

友岡純一：イネにおける突然変異矮性遺伝子 d50 と QTL との相互作用

竹田修一：イネにおける突然変異矮性遺伝子 d35 と QTL との相互作用

松井 隆：形態的形質および DNA マーカーによるミクロネシアのヤムイモ系統の分類

加世田圭佑：形態的特性および DNA マーカーによるサツマイモの品種識別

杉田佑紀：北部ベトナムイネ品種の遺伝資源の評価

川原大輔：イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 Xa3 のクローニング ~ DNA マーカーを利用したマッピング ~

趙 志紅：カンキツにおける落果機構の解明

ホルネス ロドリゲス：パッションフル - ツの和合性に関する研究

平井孝寛：タンカンの果実発育と成熟に関する研究

宮里啓作：パッションフルーツの開花、結実と光合成速度に関する研究

井上須美子：超音波による活性化法を用いた体細胞クローンミニブタの作出
 山部桂子：カンボジア在来鶏におけるミトコンドリア遺伝子の変異性に関する研究
 北地秀基：牛糞への土壌微生物資材添加が堆肥化に及ぼす影響

(7) 卒業論文

(2005)

原川梨香：ガンマ線照射によって誘発されたアワ突然変異体 EH1 の特性解析
 原崎弥生：イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 Xa1,Xa2
 高見直美：雲南稲の遺伝資源の評価
 白井拓磨：DNA 分析を用いた奄美諸島在来カンキツ等の分類
 北野邦明：家畜排泄物を主体とした有機質肥料を用いたカンキツの栽培
 金 晶：貝殻焼成 Ca と竹炭による果樹の品質の向上
 本郷美音：パッションフルーツ果実の糖集積および減酸に関する研究
 向井秀志：パッションフルーツ果実の糖集積および減酸に関する研究
 吉村 学：炭化物の施用がボンカンとタンカンの果実品質に及ぼす影響
 井藤麻未：食餌の違いによるハスモンヨトウの発育と繁殖特性
 岡本侑子：イラクサキンウワバに対する核多角体病ウイルスの病原性
 柿元佳奈：夏の高湿および食餌がチャハマキの発育に与える影響
 杉谷詩麻：チャノホソガの累代飼育法の確立
 原可奈子：異なる環境下におけるハモグリバエ群集の経時変化
 馬場央枝：シナクダアザミウマの野外における生態
 大迫恵理：一度に印加する直流パルスの回数およびその反復処理がブタ卵子の活性化に及ぼす影響
 大塚美穂：超音波活性化法におけるプローブサイズおよび処理卵子数がブタ卵子の単為発生に及ぼす影響
 大森多嘉子：エレクトロポレーション法によるクラウン系ミニブタ体細胞への DNA 導入に及ぼすコンデンサ容量および電圧の影響
 前田絵美：超音波の照射時間および強度がブタ卵子の活性化に及ぼす影響
 後藤千寿：血液タンパク質型からみたカンボジア在来鶏の遺伝学的特徴
 外山奈津紀：鹿児島県内のコマーシャル鶏におけるインフルエンザ抵抗性遺伝子の保有状況について
 本田省吾：トカラ馬の馴致と分子遺伝学的研究
 松隈裕子：AFLP 法を用いたさつま地鶏における品種特異的マーカーの作出
 松本明子：ニワトリ尿素サイクル遺伝子の発現に関する研究
 山川寿将：日本ウズラの中足骨長に関わるマーカーの検索
 上原宏美：センダン (*Melia azedarach* L.) の葉あるいは果実が山羊消化管内寄生虫に及ぼす影響
 梅木美穂：トウフ粕サイレージの給与がつしま地鶏の飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響
 高戸康典：濃厚飼料給与と法の違いが放牧肥育豚の行動ならびに産肉性に及ぼす影響
 半田 綾：玄米黒酢粕混合飼料の給与が山羊の乳生産に及ぼす影響
 東 謙次：黒毛和種肥育後期におけるコーンミール給与が飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響
 東めぐみ：麹菌発酵処理バガスが山羊の発育、健康状態ならびに産肉性に及ぼす影響
 宮内弘美：山羊放牧がチカラシバおよびエゾノギシギシの個体群動態に及ぼす影響
 牛之浜泰崇：子宮内挿入器具が黒毛和種肥育牛の繁殖機能と増体量に及ぼす影響
 倉瀧英人：牛の子宮角内に留置したマイクロセンサーによる子宮内温度の測定
 原崎弥生：イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 Xa1,Xa2
 高見直美：雲南稲の遺伝資源の評価

(2006)

柴田 望：イネの交雑 F2 に見られる雑種弱勢を支配する遺伝子の同定
 黒木成任：ガンマ線照射によって誘発されたアワ突然変異体 EH1 の遺伝解析
 大園順士：南九州から沖縄で栽培されるダイジョ系統の探索と ISSR 法および形態による分類
 瀬崎義孝：イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統 XM14 の抵抗性遺伝子のマッピング
 川野生穂：雲南産イネの日本産イネ白葉枯病菌に対する反応
 東 夢二：喜界島在来カンキツとアセロラの果実品質および結実性に関する研究
 木場陽介：パッションフルーツの開花、結実と光合成速度に関する研究
 嶽本由紀：カンキツにおける生理落果機構の解明

富田貴浩：DNA 分析によるシロサボテの類縁関係の解明
萩原有紀：炭化物の施用がポンカンとタンカンの品質に及ぼす影響
松永麻衣：カンキツ果実の減酸機構に関する研究 - プロテオーム的手法によるヒ酸及びエチレンの影響の解析 -
若松ひろみ：温帯性および亜熱帯性小果樹類の栄養繁殖に関する研究
上井裕一：ウラナミシジミのインゲン上における産卵消長とインゲン数品種間における産卵選好性
二宮光輝：人工飼料を利用したチャノホソガの大量飼育体系の確立
守田詩穂：チャノコカクモンハマキの発育に及ぼす変温と食餌の影響
川口聖子：ピンラスチンの濃度および処理時間がブタ単為発生胚盤胞における分裂中期検出率に及ぼす影響
坂田浩一：エレクトロポレーション時の電圧およびコンデンサ容量がクラウン系ミニブタ体細胞への DNA 導入に及ぼす影響
坂本真弓：超音波の周波数, duty 比および強度がブタ卵子の単為発生に及ぼす影響
佐藤千明：活性化法の違いが単為発生ブタ胚盤胞の内部細胞塊および栄養外胚葉の数に及ぼす影響
赤井洋之：日本在来馬に関する研究
磯辺博文：日本ウズラの体重及び中足骨長に関わる DNA マーカーの検索
川口友美：AFLP を用いたさつま地鶏における品種特異的マーカーの作出
関美香子：アオエリヤケイに関する分子遺伝学的研究
庭田陽介：鹿児島県黒毛和種の脂肪交雑に関わる DNA マーカーの検索
福山環美：ニワトリ尿素サイクル酵素遺伝子の発現に関する研究
三宅慧輔：ニワトリの耳朶に関する遺伝学的研究
池山優樹：放牧と自給飼料を組み合わせた黒毛和種の肥育に関する研究
今井進太：茶添加飼料の給与が肥育豚の飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響
内山雄紀：牧場採草地における野生シカの侵入防止に関する研究
中田好郁：水田放飼合鴨への調理・食残渣発酵飼料の給与が卵肉生産に及ぼす影響
西田理恵：解織処理竹材のサイレージ化とその飼料的価値に関する研究
羽田野智子：山羊放牧によるチカラシバおよびエゾノギシギシの抑圧に関する研究
増田淳一郎：離乳子山羊への特定飼料刷込みがその後の放牧地における選択採食に及ぼす影響
森 敦子：人工哺乳装置の導入が黒毛和種子牛の異常行動の発現に及ぼす影響
川野生穂：雲南産イネの日本産イネ白葉枯病菌に対する反応
瀬崎義孝：イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統 XM14 の抵抗性遺伝子のマッピング

3 研究助成

遠城道雄 (分担) 「複合生態フィールド科学の創成企画」科学研究費補助金 (基礎研究 (C))
遠城道雄 (分担) 「地球温暖化対処農業技術体系の構築に関する基礎的研究」(学長裁量経費)
遠城道雄 (分担) 「大学発の地域特産品づくりによる奄美振興」(学長裁量経費)
遠城道雄 (分担) 「島嶼圏開発のグランドデザイン」(学長裁量経費)
遠城道雄 (分担) 「南北連続「新・道の島々」センサーゾーン拠点形成」- 地球温暖化学際研究前進拠点形成と国際・地域貢献 - (教育研究活性化経費)
遠城道雄 (分担) 「アジアの食遺伝資源の保存・評価・機能解析」(教育研究活性化経費)

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本植物細胞分子生物学会, 米国園芸学会, 国際柑橘学会, 根研究会, 日本砂丘学会, 日本草地学会, 畜産学会, 西日本畜産学会, 日本草地学会九州支部会, 日本繁殖生物学会, 米国繁殖学会, 日本哺乳動物卵子学会, 日本胚移植学会, 日本養豚学会, 日本獣医学会

5 遺伝資源の保存

農場は、わが国における温暖地, 亜熱帯, 熱帯植物及びトカラ馬, 野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記の通りである。

1) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では、第22表に示すように、落葉果樹11種類36品種・系統, 常緑果樹2種類125品種・系統, 熱帯・亜熱帯果樹9種類37品種・系統を保存している。

第22表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名, 学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹	
ナシ	
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	幸水
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	新興
モモ	
<i>Prunus persica</i> Sieb.	あかつき
<i>Prunus persica</i> Sieb.	日川白鳳
スモモ	
<i>Prunus</i> sp.	メスレー
<i>Prunus</i> sp.	大石早生
ウメ	
<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	
<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
<i>Vitis</i> sp.	瀬戸ジャイアンツ
<i>Vitis</i> sp.	ゴルビー
<i>Vitis</i> sp.	安芸クイーン
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ロッソ
カキ	
<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
<i>Diospyrus kaki</i> L.	マメガキ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウア柿
<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
ブルーベリー	
<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
<i>Vaccinium</i> sp.	T100
<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
<i>Vaccinium</i> sp.	オースティン
<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウエル
<i>Vaccinium</i> sp.	マグリラ
<i>Vaccinium</i> sp.	ジャジー
<i>Vaccinium</i> sp.	ブラーデン
<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアゲム
<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
クリ	
<i>Castanea</i> Miller	筑波
<i>Castanea</i> Miller	三原系
イチョウ (ギンナン)	
<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南

<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ	
<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ	
<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
<hr/>	
常緑果樹	
ビワ	
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	白茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
カンキツ	
<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
<i>C. hystrix</i> DC.	プルット
<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーバベダ
<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
<i>C. Montana</i> Tan.	ピロロ
<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	パロチンベルガモット
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
<i>C. pseudogulgul</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラク
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	ハッサク
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaikai</i> Hayata	川野なつだいだい
<i>C. natsudaikai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. sulcata</i> Hort. ex Takahashi	サンボウカン
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ

<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル X クレメンティン	ありあけ
宮川早生 x トロピタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トクニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(甘)
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン(辛)
<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
<i>C. sp.</i>	コズ
<i>C. sp.</i>	島みかん(黒島)
キング x 地中海マンダリン	アンコール
クレメンティン x ダンシータンゼリン	フォーチュン
小西早生 x フェアチャイルド	サガマンダリン
キング x ウンシュウミカン	カーラ
三保早生 x クレメンティン	南香
今村温州 x 中野3号ボンカン	早香

クレメンティン×オーランド	ノバ
ミネオラ×クレメンティン	ページ
清見×中野3号ボンカン	陽香
清見×中野3号ボンカン	不知火
清見×ボンカン F - 2 4 3 2	はるみ
清見×アンコール	あまか
(清見×興津早生) × ページ	天草
(清見×アンコール) × マーコット	せとか
清見×興津早生	津之香
上田温州×ハッサク	スイートスプリング
ダンカングレープフルーツ×	
ダンシータンゼリン	ミネオラ
<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン	
<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぶちまる
カラタチ	
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ
カンキツ近縁属	
<i>Microcitrus</i> X <i>C. madurensis</i>	ファウストリメディン
<hr/>	
熱帯・亜熱帯果樹	
マンゴー	
<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールドデン リッペンス
<i>Mangifera indica</i> L.	ナム ドク マイ
<i>Mangifera indica</i> L.	メライン
パッションフルーツ	
<i>Passiflora edulis</i> Sims	サマークイーン
<i>Passiflora edulis</i> Sims	ルビースター
<i>Passiflora edulis</i> Sims	アマミノジャンボウ
アセロラ	
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン クイーン
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レッド ジャンボ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	トロピカル ルビー
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レーンボルグ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	マウナウイリ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン
アボカド	
<i>Persea americana</i> Mill	フェルテ
ゴレンシ	
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ナナ スター
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ボゴール
<i>Averrhoa carambola</i> L.	マレーシア
<i>Averrhoa carambola</i> L.	二林軟枝
<i>Averrhoa carambola</i> L.	竹葉
<i>Averrhoa carambola</i> L.	バンコク
<i>Averrhoa carambola</i> L.	カギ
シロサボテ	

<i>Casimiroa edulis</i> La Llave	マリブ キャンディー
アテモヤ	ヒラリーホワイト ビッグシスター ビッグマンモス
ピタヤ <i>Hyocereus</i> L.	黄色系 赤色系
リュウガン <i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6 カーラ ハエウ シーチョンブー エワイ ピオキウ サキップ タイウエン フンカク

2) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約1,500種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の40%、ビニルハウスの32%、圃場の50%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の40%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の10%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。今後、明確な品種の導入を行い、実生系で結実が安定しない系統の更新や全体的な見直しを検討していく予定である。

第23表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.
アオイ	フウリンブツウゲ	<i>Hibiscus schizopetalus</i> (M. T. Mast.)
アオイ	ハイビスカス	<i>Hibiscus</i> spp.
アオイ	ドレモンディー	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>drummondii</i> (Torr. et A. Gray) Schery
アオイ	ウナズキヒメフヨウ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>mexicanus</i> Schlechtend.
アオギリ	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.
アカテツ	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.
アカテツ	スイショウガキ	<i>Chrysophyllum cainito</i> L.
アカテツ	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.
アカテツ	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell
アカネ	サンタンカ	<i>Ixora chinensis</i> Lam.
アカネ	ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T.Moore
アヤメ	アヤメ	<i>Iris</i> sp.

研究活動

イネ	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf
イネ	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrata</i> Muroi
イラクサ	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.
イラクサ	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.
ウコギ	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.
ウコギ	フカノキ	<i>Schefflera octophylla</i> (Lour.) Harms
ウラボシ	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.
ウルシ	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.
オシロイバナ	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.
オトギリソウ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.
ガガイモ	スタペリア	<i>Stapelia</i> spp.
カタバミ	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.
カヤツリグサ	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.
キツネノマゴ	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.
キツネノマゴ	シロアミメグサ	<i>Fittonia verschaaffeltii</i> (Lem.) van Houtte var. <i>argyroneura</i> (Coem.) Nichols.
キツネノマゴ	アトロプルブレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull.) L. H. Bailey
キツネノマゴ	コダチャハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson
キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.
キョウチクトウ	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
キョウチクトウ	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
キョウチクトウ	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.
キョウチクトウ	カリッサ	<i>Carissa</i> spp.
キョウチクトウ	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キョウチクトウ	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
キワタ	トックリノキ	<i>Chorisia speciosa</i> St. Hil.
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.
クズウコン	カラテア	<i>Calathea</i> spp.
クスノキ	アボガド	<i>Persea Americana</i> Milll.
クマツヅラ	ベニゲンペイカズラ	<i>Clerodendrum</i> × <i>spciosum</i> Domb.
クマツヅラ	ゲンペイカズラ	<i>Clerodendrum thomsoniae</i> Balf.
クマツヅラ	フィリゲンペイカズラ	<i>Clerodendrum thomsoniae</i> Balf. cv. <i>Variegatum</i>
クマツヅラ	ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
クマツヅラ	チャイニーズハット	<i>Holmskioldia sanguinea</i> Retz.
クマツヅラ	ランタナ	<i>Lantana camara</i> L.
クマツヅラ	コバノランタナ	<i>Lantana montevidensis</i> (K. Spreng.) Briq.
クマツヅラ	ペトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.
クロウメモドキ	インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.

クワ	カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
クワ	インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
クワ	カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.
クワ	ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
クワ	オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
クワ	アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
コキンバイザサ	クルクリゴ	<i>Curculigo</i> sp.
ゴマノハグサ	ハナショウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ	ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
サトイモ	アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K.Koch
サトイモ	オオベニウチワ	<i>Anthurium andreaum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
サトイモ	ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
サトイモ	ホウライショウウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
サトイモ	マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthalii</i> Schott
サトイモ	ホテイカズラ	<i>Philodendron martianum</i> Engl.
サトイモ	ヒトデカズラ	<i>Philodendron selloum</i> K.Koch
サトイモ	スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
シソ	クミスクテン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
ショウガ	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm.
ショウガ	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm. 'Variegata'
ショウガ	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
ショウガ	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
ショウガ	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
ショウガ	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe
スイカズラ	ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.
ソテツ	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
タコノキ	アダン	<i>Pandanus tectorius</i> Soland. ex Parkins.
タデ	カンキチク	<i>Homalocladium platycladum</i> (F.J.Muell.) L. H. Bailey
チャセンシダ	オオタニワタリ	<i>Asplenium antiquum</i> Makino
チャセンシダ	シマオオタニワタリ	<i>Asplenium nidus</i> L.
ツツジ	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツククサ	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
ツククサ	ゼブリナ	<i>Zebrina pendula</i> Schnizl.
ディレニア	ビワモドキ	<i>Dillenia indica</i> L.
トウダイグサ	ベニヒモノキ	<i>Acalypha hispida</i> Burm. f.
トウダイグサ	アカリファ	<i>Acalypha wilkesiana</i> Mull. Arg.

研究活動

トウダイグサ	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
トウダイグサ	ケシヨウボク	<i>Dalechampia roezliana</i> Muell. Arg.
トウダイグサ	ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
トウダイグサ	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
トウダイグサ	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
トウダイグサ	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
トウダイグサ	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.)Poit.
トケイソウ	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.
トケイソウ	パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>
ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.
ナス	ヤコウボク	<i>Cestrum nocturnum</i> L.
ナス	ソランドラ	<i>Solandra</i> sp.
ナンヨウスギ	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.)Franco
ノウゼンカズラ	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.
ノウゼンカズラ	ジャカラランダ	<i>Jacaranda</i> sp.
ノウゼンカズラ	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.
パイナップル	エクメア	<i>Aechmea</i> spp.
パイナップル	グズマニア	<i>Guzmania</i> spp.
パイナップル	テランジア	<i>Tillandsia</i> spp.
パイナップル	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.)L.
バショウ	バナナ	<i>Musa</i> spp.
バショウ	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.
バショウ	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.
バショウ	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>juncea</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore
バラ	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)
パンヤ	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.
パンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.
パンレイシ	ポンドアップル	<i>Annona glabra</i> L.
パンレイシ	ヤマトゲパンレイシ	<i>Annona montana</i> Macfad.
ヒガンバナ	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel
ヒユ	アルテルナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.)R.Br.ex Roem. et Schult.
フウチョウソウ	ギョボク	<i>Crataeva</i> sp.
フトモモ	ブラッシノキ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.
フトモモ	カリステモン	<i>Callistemon</i> spp.
フトモモ	レモンユーカリ	<i>Eucalyptus citriodora</i> Hook.
フトモモ	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.
フトモモ	ビタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.
フトモモ	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O.Berg.
フトモモ	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.
フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.
フトモモ	テリハバンジロウ (果実)	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.

フトモモ	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. var. <i>lucidum</i> hort.
フトモモ	グアバ (果実)	<i>Psidium guajava</i> L.
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston
フトモモ	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston
ベンケイソウ	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.
ベンケイソウ	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.
マメ	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill
マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
マメ	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.
マメ	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.
マメ	コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.
マメ	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.
マメ	サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.
マメ	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.
マメ	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'
ミカン	シロサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.
ミソハギ	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.
ミソハギ	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.
ムクロジ	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.
モクセイ	シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B. Clarke
モクセイ	ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.
モクセイ	マツリカ	<i>Jasminum sambac</i> (L.) Ait.
モクマオウ	モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.
ヤシ	アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret
ヤシ	ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F.J. Muell.) H. Wendl. et Drude
ヤシ	ピンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.
ヤシ	ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.
ヤシ	サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill
ヤシ	クロツグ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.
ヤシ	ボンネッティ	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.
ヤシ	ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.
ヤシ	ヤタイヤシ	<i>Butia yatay</i> (Mart.) Becc.
ヤシ	カミンギー	<i>Caryota cumingii</i> Lodd. ex Mart.
ヤシ	クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.
ヤシ	チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.
ヤシ	アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.
ヤシ	デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey
ヤシ	ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.
ヤシ	テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.
ヤシ	シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong
ヤシ	ヒメショウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.
ヤシ	ベガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore
ヤシ	ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.
ヤシ	シナビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br. ex Mart.

研究活動

ヤシ	ピロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)
ヤシ	オガサワラピロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.
ヤシ	トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey
ヤシ	トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey
ヤシ	ヴェデリアヌム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H.Wendl.) H. E. Moore
ヤシ	ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle
ヤシ	トックリラン	<i>Nolina recurvata</i> (Lem.) Hemsl.
ヤシ	キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K.Koch) Stuntz
ヤシ	カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud
ヤシ	ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.
ヤシ	カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.
ヤシ	シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien
ヤシ	サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.
ヤシ	ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R.Br.) Blume
ヤシ	シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.
ヤシ	ハリヤシ	<i>Rhapidophyllum hystrix</i> (Pursh) H.Wendl. et Drude
ヤシ	カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry
ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume
ヤシ	フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper
ヤシ	サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.
ヤシ	ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore
ヤシ	コダネクマデヤシ	<i>Thrinax morrisii</i> H. Wendl.
ヤシ	コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz
ヤシ	マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore
ヤシ	ウイニン	<i>Veitchia vini</i> n H. E. Moore
ヤシ	タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.
ヤマノイモ	カシュウイモ	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.
ヤマノイモ	トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea rotundata</i> Poir.
ヤマノイモ	ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.
ヤマモガシ	マカダミアナッツ	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche
ユキノシタ	サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f.plena (Maxim.) C.K. Schneid.
ユリ	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.
ユリ	アロエ	<i>Aloe</i> spp.
ユリ	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume
ユリ	オリズルラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques
ユリ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.
ユリ	十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.
ユリ	ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop
ラン	ハウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.
ラン	オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.
ラン	バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G.Jacks.
リュウゼツラン	リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
リュウゼツラン	ニオイシュロラン	<i>Cordyline australis</i> (G.Forst.) Hook.

リュウゼツラン	コルディリネ	<i>Cordyline stricta</i> (Sims) Endl.
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
リュウゼツラン	シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
リュウゼツラン	ニオイセンネンボク	<i>Doracaena fragrans</i> (L.) Ker-Gawl.
リュウゼツラン	ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T.Mast.
リュウゼツラン	レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
リュウゼツラン	ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'
リュウゼツラン	トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'
リュウゼツラン	ゴールドンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'

1. 指宿植物試験場で保存栽培している主な植物を掲載したが、品種、系統については原則として除外した。
2. 科名、和名、学名については以下の書籍を参考にし、明確な和名が無いものは文献1を主に参考にした。

参考文献

1. 塚本洋太郎総監修：園芸植物大事典 1 - 6巻 小学館. 1990
2. 熱帯植物研究会編：熱帯植物要覧 大日本山林会. 1984
3. 土橋 豊：観葉植物1000 八坂書房. 1992
4. 農林省熱帯農業研究センター：東南アジアの果樹. 農林統計協会 1974

3) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*) :

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定された。現在の生息数は100頭前後で、そのうち約半数が鹿児島大学附属農場で飼育・増殖されている。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、現在、その生息数は100頭前後で、そのうち約20頭が鹿児島大学附属農場で飼育されている。現在、絶滅の危機に瀕しており、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。